機能ＩＤ	項番	枝番	機能名称	機能要件	実装区分	適合基準日
0150008	2.1.3.			滞納者のランク管理が自動でできること。 （想定されるランク分けパターン） ①滞納額 ②催告書送付回数 ③年度 ④差押履歴 ⑤差押中 ⑥滞納年数 ⑦所得額 ⑧口座登録有無 ⑨滞納処分の停止中 ⑩50音 等	標準オプション機能	
0150009	2.1.4.			滞納者の個人情報について、写真やスキャナで取り込んだ画像データの管理（設定・保持・修正）ができること。	標準オプション機能	
0150010	2.1.5.	1	メモ	滞納者管理画面において、メモを記載できること。 滞納管理システムを使用する課等の所管ごとにメモを切り替えることができること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0150011	2.1.5.	2		滞納管理システムを使用する課や係ごとにメモを登録できること。	標準オプション機能	
0150333	2.1.6.	1	フラグ	滞納者に対して、任意にフラグを管理（設定・保持・修正）できること。フラグによるデータ抽出を行うことができること。 フラグのマスタ管理（名称等）ができること。 抽出した滞納者に対し、一括でフラグ管理（設定・保持・修正）ができること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0150334	2.1.6.			フラグのマスタ管理（始期、終期）ができること。	標準オプション機能	
0150013	2.1.6.	2		使用頻度の高いフラグを登録し、随時同じフラグを利用できること。	標準オプション機能	
0150335	2.1.7.	1	滞納者抽出	各種税（個人住民税・森林環境税・法人住民税・軽自動車税・固定資産税）の滞納者を抽出できること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0150015	2.1.7.	1		複数のフラグを組み合わせ、除外でデータ抽出できること。フラグの名称、始期、終期等で抽出できること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0150336	2.1.8.	1		以下の抽出条件により滞納者を抽出できること。 不納欠損対象の場合、欠損事由での抽出ができること。 日時項目がある条件（滞納処分・猶予の有無・財産照会等）については、期間を指定して抽出できること。 抽出結果は、滞納者情報管理画面への展開・各機能の一括処理・各帳票の一括出力ができること。 ＜抽出条件＞ ・宛名番号 ・個人番号 ・住所 ・送付先 ・滞納額（本税・延滞金） ・税目 ・賦課年度 ・課税年度 ・期別 ・分割納付履行中 ・分割納付不履行 ・分割納付完了 ・滞納処分・猶予の有無 ・猶予の種類・滞納処分の停止の有無 ・交渉経過 ・地区 ・電話番号・電話番号の有無 ・滞納区分 ・死亡者 ・生活保護受給の有無 ・時効完成予定者 ・個人住民税・森林環境税の情報（所得・控除種類別・特徴義務者）	実装必須機能	令和８年４月１日